

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 (仮称)BAKE北海道工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点		重み係数		
	A	B	C	D									建物全体・共用部分	住居・宿泊部分			
Q 建築物の環境品質																	
Q1 室内環境																	
1 音環境																	
1.1 騒音																	
1.2 遮音																	
1 開口部遮音性能																	
2 界壁遮音性能																	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	
1.3 吸音																	
2 温熱環境																	
2.1 室温制御																	
1 室温																	
2 外皮性能																	
3 ゾーン別制御性																	
2.2 湿度制御																	
2.3 空調方式																	
3 光・視環境																	
3.1 昼光利用																	
1 昼光率																	
2 方位別開口																	
3 昼光利用設備																	
3.2 グレア対策																	
1 昼光制御																	
2 眩り込み対策																	
3.3 照度																	
3.4 照明制御																	
4 空気質環境																	
4.1 発生源対策																	
1 化学汚染物質																	
2 浮遊粒子状物質																	
4.2 換気																	
1 換気量																	
2 自然換気性能																	
3 取り入れ外気への配慮																	
4.3 運用管理																	
1 CO ₂ の監視																	
2 喫煙の制御																	
Q2 サービス性能																	
1 機能性																	
1.1 機能性・使いやすさ																	
1 広さ・収納性																	
2 高度情報通信設備対応																	
3 バリアフリー計画																	
1.2 心理性・快適性																	
1 広さ感・景観																	
2 リフレッシュスペース																	
3 内装計画																	
1.3 維持管理																	
1 維持管理に配慮した設計																	
2 維持管理用機能の確保																	
3 衛生管理業務																	
2 耐用性・信頼性																	
2.1 耐震・免震																	
1 耐震性																	
2 免震・制振性能																	
2.2 部品・部材の耐用年数																	
1 躯体材料の耐用年数																	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	
6 主要設備機器の更新必要間隔																	
2.4 信頼性																	
1 空調・換気設備																	
2 給排水・衛生設備																	
3 電気設備																	
4 機械・配管支持方法																	
5 通信・情報設備																	
3 対応性・更新性																	
3.1 空間のゆとり																	
1 階高のゆとり																	
2 空間の形状・自由さ																	
3.2 荷重のゆとり																	
3.3 設備の更新性																	
1 空調配管の更新性																	
2 給排水管の更新性																	
3 電気配線の更新性																	
4 通信配線の更新性																	
5 設備機器の更新性																	
6 バックアップスペースの確保																	

CASBEE_Sapporo2014v1.2 (仮称)BAKE北海道工場		重点評価項目				■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理	
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q3 室外環境(敷地内)								-	0.40	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				C				1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				C				3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D			3.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B		C				2.0	0.50	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性								-	-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー								-	0.40	-	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		A						-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		A						3.0	0.13	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 0.64 住宅(専有部) -		4.0	0.63	-	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				BEIm値:0.64		4.0	1.00	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		A						-	-	-	-	-	-
4 効率的運用								2.5	0.25	-	-	-	2.5
集合住宅以外の評価								2.5	1.00	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A						3.0	0.50	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A						2.0	0.50	-	-	-	-
集合住宅の評価								-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A						3.0	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A						3.0	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル								-	0.30	-	-	-	2.5
1 水資源保護								2.2	0.20	-	-	-	2.2
1.1 節水								1.0	0.40	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無								3.0	0.70	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	0.30	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								2.5	0.60	-	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減								3.0	0.11	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B						3.0	0.22	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B						3.0	0.22	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B						1.0	0.22	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B						-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B						3.0	0.22	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	-	-
1 消火剤		B						-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B						3.0	0.50	-	-	-	-
3 冷媒		B						3.0	0.50	-	-	-	-
LR3 敷地外環境								-	0.30	-	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			B			評価シートによる。		5.0	0.33	-	-	-	5.0
2 地域環境への配慮								3.0	0.33	-	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			B					3.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D			3.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制								3.3	0.25	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			B			必要対策量:29.29m3のところ29.355m3としている。		4.0	0.33	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制								-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制								3.0	0.33	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D			3.0	0.33	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮								3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	-	-
1 騒音								3.0	1.00	-	-	-	-
2 振動								-	-	-	-	-	-
3 悪臭								-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	-	-	-
1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	-	-
2 砂塵の抑制								3.0	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制								3.0	0.20	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策								3.0	0.70	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	-	-